



2012 ~ 2013 年度
R I テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

国際ロータリー会長 田中作次(国籍・日本)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0820 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1110 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 高宮 勝美 理事 大島由美子 役員 会長 高宮 勝美 S A A 亀井 孝
〃 森園 伸也 〃 村津 忠久 副会長 森園 伸也 直前会長 亀井 孝
〃 木村きぬゑ 〃 近藤 賢司 幹事 前田 哲矢
〃 森 宗明 会計 大江 知巳

VOL. 25-38
2013年4月16日

第1139回例会

会報委員長 河村 貴雄

- ◆点 鐘 12:30
- ◆R S それでこそロータリー
- ◆唱 歌 朧月夜
- ◆ゲスト 権藤 淳氏 (株)豊和銀行頭取)

会長の時間 会長 高宮 勝美

皆さん、こんにちは。会長の高宮勝美です。
今日は先程ご案内いたしました通り、ゲスト卓話として豊和銀行頭取の権藤淳氏をお招き致しております。
権藤頭取は、我が社の創業30周年記念式典にご出席頂いた方はご存じと思いますが、式典のイベントで自慢の喉をカラオケで披露された様に変気さくな方です。本日の卓話は私達が今、一番関心の深い今後の日本や世界の経済についてお話していただき、卓話の後で質疑、応答の時間を設けさせていただきますので、本日の会長の時間はこれで終わりと致します。

幹事報告 前田 哲矢

—雑誌月間—

1. 本日の卓話
「県内経済の現状と今後の展望」
～今年こそ元気を出そうぜ！大分県～
豊和銀行頭取 権藤 淳氏
2. 本日のゲスト
権藤 淳氏 (豊和銀行 頭取)
3. 4月14日(日) 13:30～別府ビーコンプラザ・フィルハーモニアに於いて別府北RC主催「東日本大震災復興支援チャリティーコンサート」が開催され、高宮勝美会長が出席されました。

◆出席報告 委員長 平野 英壽

本日 の 出 席	会 員 総 数	27 名
	出 席 者	19 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	2 名
	出 席 免 除	2 名
前 々 回 の 訂 正	欠 席 数	3 名
	出 席 率	76 %
	出 席 率	76 %
	事後メイクアップ	3 名
	理 事 会 承 認	2 名
4/2	出 席 免 除	2 名
	修 正 出 席 率	88 %

連 続 一 回
通 算 744 回 100 %

・メイクアップ

事前 木村 (別府)
事後 平野(英)、河村、森 (別府北)
欠席 平野(教)、堀、中尾
理事会承認 梶田、岐部
出席免除 溝部、鳴海

4. 別府中央RC元会員の狩野英子様より、当クラブへご自身の著書の売上金20,000円をご寄付頂きましたのでご報告いたします。
5. お祝い
会員誕生日 梶原 和朗会員 (4月17日)
木村きぬゑ会員 (4月19日)
※記念品をお渡し致します。



結婚記念日 梶原 和朗会員（4月17日）
※記念品をお渡し致します。



梶田 健治会員（4月19日）
※ご自宅にお花が届きます。
島田 光男会員（4月19日）
皆 勤 梶原 和朗会員（4月12日=2年）

昨日・3708名のエントリーを頂いて開催されました。

お天気にも恵まれ、参加者・スタッフ・ボランティア、全員無事で楽しく終了する事が出来ました。

全てに感謝してスマイル。

○河村会員

4月5日は税務調査の最盛期です。最近には調査官の人間観察がとても楽しくなり、調査後もいい人間関係が構築できるようになりました。やっぱり年なんでしょうか。

○森会員

長い出稼ぎから戻って参りました。たった2週しかあけてないのに“とてもさみしかった”。

○後藤会員

とんぼチャンネルで森さんのゴルフの練習風景を観ました。草野プロの指導で土曜日のスコアにどんな影響が出るのか楽しみです。

○近藤会員

このクラブに入会して初めて会員を勧誘することができました。本当にうれしい！！でもごほうびのロータリーバッジはもらえないと聞いてガッカリです。

○佐藤会員

本日は我が社のトップを卓話にお招きいただきありがとうございます。上手に話せるかハラハラしておりますがマラソンの様に大丈夫でしょう。感謝の気持ちを込めてスマイル。

○亀井会員

権藤頭取、ようこそ別府中央RCへ。頭取の講演を聞いていると、大分県、又、別府市もまだまだ頑張れると思ひ、元気が出てきます。別府市の観光産業も宜しくご支援お願いします。一気登山、今年も頑張って登りました！！

○佐々木会員

先日、ハナとノドの調子が悪くなり、花粉症を疑い検査を受けました。採血して1週間……結果は、『気のせい』でした。

黄砂に花粉、PM25、原因はわかりませんでした。健康に感謝してスマイル。

権藤さん、今日の卓話楽しみにしています。

○平野(英)会員

権藤頭取、今日は中央RCへようこそ。卓話ありがとうございます。

又、3月31日は梶原会員に悪い事をしました。弱い者いじめをしてしまい、申し訳ありません。詫びてスマイル。

6. 例会変更のお知らせ

大分中央RC 4月30日(火)の例会は
津久見RC 4月30日(火)の例会は
中津中央RC 4月30日(火)の例会は
別府北RC 5月1日(水)の例会は
中津RC 5月1日(水)の例会は
湯布院RC 5月1日(水)の例会は
大分キャピタルRC 5月1日(水)の例会は
大分城西RC 5月1日(水)の例会は
別府東RC 5月2日(木)の例会は
大分東RC 5月2日(木)の例会は
大分RC 5月7日(火)の例会は、

定款第6
条第1節
(c)に
より休会

職場例会
の為 同日12:30~大分記念病院
に場所変更

7. 次週の予定

「地区協議会報告」

8. 本日の回覧

- ①くにさき・杵築RC 週報
- ②「別府市近隣7RC合同親睦ゴルフ大会」
出・欠席

9. 本日の配布

- ①週報No.1138

スマイルボックス 委員長 大江 知巳

○高宮会長

今の景気が本物か大変心配していますので、権藤頭取の卓話、楽しみにしています。

○森園会員

権藤頭取、ようこそ！！
本日の卓話を聞いて元気を出します。

○大島会員

何もなかったのですが、隣に座っているスマイル委員長に微笑まれましたので、豊和銀行頭取、権藤様の卓話にスマイルします。

○津末会員

豊和銀行の頭取様、何時も会社がお世話になって居ます。今後共宜しくお願い致します。

○村津会員

「第26回べっぶ鶴見岳一気登山大会」は、一



卓 話

県内経済の現状と今後の展望

(副題：今年こそ元気を出そうぜ！大分県。)

豊和銀行頭取
権藤 淳 氏



1. 銀行から見た大分県経済の景況感

*アベノミクスで気分的には明るさ。期待感大。(特に、東京では高揚感すら)。但し、実体経済は別にして、景況感大幅に改善(特に建設業)。

- (1) 企業業況厳しい(経費削減で凌ぐ。将来投資に慎重。TI工場閉鎖)
- (2) 法人資金需要弱い(建設業は、豪雨災害からの復旧工事や公共事業への期待感から景況感大幅改善。従来より、福祉・介護関係は旺盛。太陽光(メガ等)プロジェクトも依然好調)
- (3) 倒産件数は小康状態(中小企業金融円滑化法は3月末終了)

2. 少子高齢化・デフレ・円高・国内空洞化等が進展する中、どう生き抜くか？

(キーワード)

- ① 本業の技術・ノウハウを活用した新しい需要の創造(時代の先読み)
- ② 国内から海外へ(現地の実情に合わせた商品開発・マーケティング)
- ③ 右下がり経済の中でのシェア拡大 ~ 他社・他地域との差異化
- ④ 高齢化市場(団塊の世代)への対応
- ⑤ WEB・SNS等の新技術・新コミュニケーション手段の活用

〈事例1〉ユニ・チャームの戦略(生理用品⇒オムツ⇒ペット⇒マスク⇒海外)

〈事例2〉クレジットカード変遷(磁気⇒IC⇒WEB、飲食⇒病院・交通系)

3. 大分県の強み(日銀大分支店調べ(H23.8.4))：今後への示唆

- (1) 自然エネルギー利用推進県としての大分県(エネルギー地産地消)
 - ・自然エネルギー供給量約2万TJ(全国トップ。2位/富山1.7万)
 - ・自然エネルギー自給率25.2%(全国トップ。2位/富山16.8%)
 - ・大分県の自然エネルギー発電所は県内随所に~地熱(八丁原) ~小水力(竹田・由布・豊後大野) ~温泉熱(別府) ~バイオマス(日田) ~太陽光(国東)
- (2) 拠点としての大分県(リスク分散志向を捉

えた企業誘致・地場企業育成)

・半導体/自動車/医療機器製造等の産業集積。アジアに近い地理性。

→分散生産拠点としての比較優位性

→営業拠点、バックオフィス拠点、物流拠点、輸出拠点

(3) 観光振興県としての大分県(観光需要の受け皿)

- ・宿泊施設の魅力度(第1位)(第2位沖縄、第3位千葉)
- ・訪日客の旅行先満足度(第2位)(第1位福岡、第3位千葉)
- ・人口1人当たり宿泊者数(第6位)(第1位沖縄、第2位山梨)
 - 長期滞在型ヘルスツーリズム、自然エネルギーを用いた環境都市、県立美術館等を活用した創造都市等

4. 外から見た大分県(強さと弱さ)(独断的私見)

(1) ブランディング、マーケティング力、発信力が弱い。

・他県に誇れる自然環境、食材(農林水産)温泉等は宝の持ち腐れ

(全国ブランド：別府・湯布院、関アジ・関サバ、城下かれい)

⇒ ブランド力を強化して大分をもっと前に(⇔内向き志向)

・豊後牛、大分県産米、しいたけ、長ネギ = 素材を付加価値化して、全国マーケットに

⇒ **【当行の動き】** 商談会により販路拡大をサポートします

(余談)

・芸人(深津絵里・財前直見・古手川裕子・麻丘めぐみなど大分県出身であることを余り積極的に明らかにせず。何故? 博多・久留米・熊本出身者との違い)

・日銀総裁輩出(歴代28人中4人。山本達雄・井上準之助・一万田尚登・三重野康と日本で最大勢力)

・ポツダム宣言受諾の御前会議参加者(6人中3人が大分県人)

⇒陸軍：阿南惟幾陸軍大臣・梅津美次郎陸軍参謀総長

⇒海軍：豊田副武海軍軍令部総長

・降伏文書署名 重光葵外務大臣(豊田副武海軍軍令部総長)

~大分県出身の軍人たちが終戦に導き、日本を救った。

(2) 自然や衣食住の観点から見たら、非常に豊かな県。敢えて、外に出なくても食える。⇒やさしい県民性。内向き志向。外との競争に弱い。

・縣市町村は独立色強く、コラボが見えない。小藩分立の名残か



- ・これからの発想は、点→線、線→面、或いは東九州という一つの面・ベルトとして捉え、九州圏の中で位置付ける視点が不可欠
=官と民、市町村どおし、県どおしが協業するのが当たり前

(3)まちづくりや村づくりの中長期ビジョンの策定の必要性

- ・車優先社会 ⇒ 人が集まる社会、若者が希望の持てる社会に。
- ・東日本被災者の受け皿にはなれないか (休耕地の活用などは?)

5. 県内経済の展望 ⇒ いくらでもチャンスはある ~ 頑張れ、大分県!

- (1)元気な企業は、県内にいくらでもあり、それぞれに知恵を絞って頑張っている。満更ではない。特に、40歳代の若い社長の会社は、社員がバブルを知らないので、低成長の今の状態が当たり前、と認識しており、その状態を前提に、その中で必死にビジネスの芽を探して工夫をしている。結構元気が良い。不満を言っても始まらない。
- (2)内向き志向(内弁慶)からの決別。自信を持つ。
→オンリーワン・付加価値・知恵と工夫を武器に。
- (3)大分県は、〇〇市は、或いは私の会社は、この地域で、こうなりたいという強い意思のもと、まずは、民間の力でリスクをとって構想を作り、行政を巻き込んで行く。
(民間と県・市町村とのコラボは不可欠)

*前へ、上へ、外へ

6. 日本有数の観光地・別府の活性化なくして、大分県の再生は不可能

- (1)別府大分毎日マラソンの市民マラソン化(経済効果大!)
⇒ 署名運動やボランティア活動に、皆さんにもご協力いただきたい。
- (2)メディカル・ツーリズム (温泉療法・美味しい食材・温暖な気候)
- (3)APUの活用 (国際交流の橋渡し: 母国では良家の子女)

7. 結びにかえて

- (1)長谷川閑史(ヤスチカ)氏 (武田薬品工業社長。経済同友会代表幹事。)が経済同友会の2013年代表幹事年頭見解に示された記述から抜粋
・我々経営者は、日本経済の成長の担い手たる経済界の牽引役であり、企業活動における全ての最終責任を負っている。いつの時代にあっても、経営者がリーダーシップを発揮して成長戦略を描き、経営改革に挑戦

し続けていかなければならない。市場を創造し、雇用を創出すると共に、常に業績の更なる向上を目指し、その結果、好業績を実現できた企業は率先して社員に成果を配分する。このような経営者には、もって日本経済再生の先頭に立ち、その責務を果たす覚悟が求められている。

- ・グローバル化の進展に伴い企業を取り巻く環境が大きく変化する中で、従来とは異なる戦略が求められていることを日本の多くの企業経営者は自覚している。これまで“失われた20年”とも言われる長期停滞の下で、企業同士が熾烈なシェア争いや価格競争によって消耗戦を繰り返してきた。真の競争相手と海外の成長市場で戦うために、多くの産業において業界再編は避けて通ることはできない。最近、いくつかの業界でようやく本格的な動きが出て来ているのは望ましい兆候である。一方では、日本企業は今や200兆円を超える現預金を有していると言われていても拘わらず、市場には政府・日銀の連携により120兆円超という過去に例のない巨額の資金が供給されることになった。いくら潤沢な資金があっても、国内には魅力的な投資機会が少ないと嘆いたり、超円高の是正を政府・日銀に要請するばかりでは事態は解決しない。
- ・まずは、経営者自らがリスクを取ることである。円高を活用して、今後も相対的に高成長が期待できる新興国への進出や、経済停滞で資産価格が下落している先進国市場におけるM&Aを積極的に行うなど、自らのリーダーシップで逆境を逆手にとるぐらいの思い切った戦略の決断と実行が求められる。まさに、経営者のリーダーシップが企業の優勝劣敗により大きな影響を与える時代である。

- (2)鳥井信次郎氏 (サントリー創業者) の言葉 = 私の大好きな座右の銘です。
“やってみなはれ。やらなわからしまへんで”
“やってみなはれ。みとくんなはれ”
= 起こり得る一切の事態を想像しておけ。しかし、最後には踏みきれ。賭ける。賭けたら怯むな。徹底的に食い下がって離すな。

- cf サントリーのビール事業
= 佐治敬三 (元社長・鳥井信次郎次男) に向けて言った言葉とも。
・再進出 (旧ビール事業1928年~1934年) 1963年
・ビール事業の黒字化 (45年にして初めて) 2008年